

宿泊産業ソリューションサービス

ホテル・旅館にトータルなシステム提供
Web予約対策を始め新機能を続々搭載

(株)タップ

東京都江東区東陽2-2-4 マニユライプレイス東陽町1階
003-5683-5314 <http://www.tap-ic.co.jp>

ホテル・旅館向け情報システムの専門会社(株)タップは、フロントシステムから、経理・財務などの管理システムまで、マネージメント支援システムまで、フルラインナップのソリューションを取りそろえている。同社のネットワーク・コンピュータインフラは、一般的なクラウド・サービスとは異なり、フルカスタマイズが可能であることが特徴で、ホテル・旅館の個別ニーズへの柔軟な対応やサービスの差別化の実現に大きなメリットを持つ。

予約サイトとの2WAY連携強化 自社予約エンジンも利用可能に

タップのホテルシステムはパッケージソフトでありながら、マーケティングのニーズに応じて新機能を盛り込み、進化を続けている。直近のバージョンアップでまず挙げられるのが、Web予約対応の強化だ。

第1点は、予約サイトコントローラーとのシームレスな2WAY連携である。宿泊予約にますます

大きな比重を占めるようになった予約サイトを一元管理する、サイトコントローラーの普及率が高まっている。このサイトコントローラーを紹介した予約の取り込み「上り」と、在庫の増減調整「下り」の機能をそれぞれ充実させて、ホテルシステムへの情報取り込みと在庫コントロールの効率を上げた。下りでは自動巡回で予約取り込みスピードをアップし、予約受信時のリピーターチェックなど情報連動量が増加。上りでは在庫の一括調整のほか、レートレベルによる販売ON/OFF制御などを装備し、Web上の集客用低価格プランの売り止めによるRev. P ARアップのオペレーションなどを、ホテルシステムから行なうことができる。競合他社製品にも同様な機能を持つものもあるが、同社のシステムは細やかな情報の出し入れを重視している。

第2点が、Web予約エンジンの搭載である。従来から様々な予約エンジンとの連動は可能であったが、

低コストでネット予約機能を利用でき、ホテルシステムとの連携がよりスムーズになって、今後のバージョンアップへの対応も容易になった。

Bツールで精度の高い予測実現

Web予約以外の分野では、「BIツール」を活用したオンハンド・フォークキャストシステムの提供が挙げられる。BIはBusiness Intelligenceの略で、システムに蓄積された大量のデータを高速に加工するツールである。ビジネスに広く使われているが、使用料が非常に高価で、国内の宿泊産業ではほとんど普及していない。このツールをASPで安価に利用可能とし、過去の膨大な宿泊データを分析して精度の高い予測を実現するサービスである。集計・分析結果は、プルダウンやチェックボックスのオンオフで表やグラフが連動して情報を表示するなど、現場での使いやすさが配慮されている。エクセルの集計機能ではデータ分析がしきれなかった大型ホテルには朗報といえるだろう。

このほか、スマートフォンによるゲストサービス支援機能も注目している。従来から、宿泊・FB・宴会各部門のDB連携に定評のある同社のシステムだが、スマホによる業務連

絡システムを利用したりネット・宅配便・ルームサービスなどの各種ゲストサービス記録も、ホテルシステムに統合してCRMに役立てようというもの。汎用性のあるスマホの強みを生かしている。「ゲストからみればどんな業務でも「ホテル」の仕事。組織による縦割りは極力排除すべし」という同社のシステム設計思想に基づく機能強化である。

◎ サイトコントローラーとのシームレスな 2WAY 連携

